



JICA-CM4TIP 通信

No.25/2017.10.24

- 被害者中心主義手法研修をバンコクとチェンライで開催
- コンタクトポイント会議で百生前チーフアドバイザーが発表
- 社会開発人間安全保障省日本視察
- TICA コネクトに松野チーフ登壇
- 明治学院大学・関西大学の訪問

タイ・メコン地域人身取引被害者支援能力向上プロジェクト

- ◇ タイおよびメコン地域において人身取引被害者に対する支援対策が効果的に行われるために、JICA では被害者保護・自立支援に関わる多分野協働チーム (MDT) の能力強化と、支援能力向上に協力してきました。
- ◇ 当プロジェクトは 2015 年 4 月から 4 年間の予定で、人身取引被害者の生活再建支援のため、ケースマネージャー (CM) 等の能力向上や被害者のエンパワメント、周辺国との協働を目指す活動を実施します。
CM4TIP : Case Management for Trafficking in Persons の意味。
詳細は HP (<http://www.jica.go.jp/project/thailand/016/index.html>) をご覧ください。

被害者中心主義手法研修をバンコクとチェンライで開催しました (8 月 24-25, 26-27 日)

CM4TIP プロジェクトでは、人身取引被害者へ提供する支援サービスの質の向上を目指しています。そのため、シェルターで働くソーシャルワーカーやカウンセラーなどの実務レベル担当者を対象に、人身取引被害者の心に寄り添い、被害者と一緒に社会復帰までの道のりを帆走できるようなサービスの提供を目指す VCA (Victim-Centered Approach) 研修をバンコクとチェンライの二カ所で開催しました。研修には、日本から NPO 法人「女性と子どものエンパワメント関西」より井山里美先生と山田恵先生を短期専門家 (講師) として来られました。エンパワメント関西は、毎年プロジェクトが実施する日タイ合同研修で、タイの MDT (多分野協働チーム) メンバー 15 名の現地実施機関としてプロジェクトの活動に参画していただいています。



約 60 名の参加者は二日間にわたる研修の中で、様々なワークを通し、VCA とは何なのか、被害者の自尊心を高める活動がいかに大切か、ケアをどのように効果的に行うかなどの実践的な手法を学びました。研修後早速、一部の参加者は、自分たちの学んだことをシェルター施設の中で被害者と一緒に実践している、という報告を受けました。実務者が即実践できる手法とスキルを学べたという事で、有意義な研修であったのではないかと自負しています。この研修の全容は「被害者中心主義手法トレーニングマニュアル」として、出版する予定です。ご興味のある方は、是非プロジェクトにお問い合わせください。



「人身取引事案に係るコンタクトポイント連絡会議」で百生前チーフアドバイザーがプロジェクトの紹介をしました（7月14日）

同連絡会議は警察庁が毎年開催し、日本の全都道府県から人身取引対策を担当している警察官が集まり、情報交換をします。警察以外にも在京関係国大使館、NGO、国際機関など人身取引対策に関わる200人以上（推定）の参加がありました。

今回は、警察庁の安全保安課と東京入国管理局から日本の人身取引の状況の説明があり、警視庁、大阪府警から事案の詳細が発表されました。警察以外からは、IOM、東京都女性相談センターとJICAがそれぞれの活動の発表をしました。

JICAは社会基盤・平和構築部ジェンダー平等・貧困削減推進室の湯浅副室長から、JICAのタイ、ミャンマー、ベトナムでの今までの活動と今後の展開について説明し、百生前チーフアドバイザーからタイの人身取引の状況、当プロジェクトの概要説明および成果と課題について発表しました。

発表後は、警察、国内の保護施設、国際機関の人々と情報交換を行い、プロジェクト関係者の研修受け入れなどの話をしました。このように一度に政府、大使館、NGO、国際機関が一同に集まる機会というのは貴重で、特に、日本の警察がどのように被疑者を検挙しているのか知ることができ、大変充実した会議でした。

タイ社会開発人間安全保障省の高官8名が日本の人身取引対策や弱者支援活動を視察しました（9月24-29日）



毎年恒例となりつつある、社会開発人間安全保障省の高官による日本視察です。今年は、社会開発人間安全保障省の次官補を団長として、女性保護のシェルターを運営している矯風会、東京女性相談センター等のDV被害者・人身取引被害者保護施設、障がい者のための社会福祉施設ピアワーク・オアシスなど5カ所を訪問し、日本における弱者支援の活動を視察しました。

今年初めて受け入れをしていただきました社会福祉法人おあしす福祉会では、運営しているピアワーク・オアシスという工房を見学させていただき、利用者様からの声を直接聞くことができました。木工事業というタイのシェルターには取り入れられていない事業活動とその製品を見せていただくことができ、タイの視察団には大いに勉強になったようでした。皆さん、その温かくぬくもりの感じられる丁寧な作られた作品群に感銘を受けていました。ピアワーク・オアシスの活動について詳しくは <http://www.oasisfukushi.or.jp/office>

タイの一行はJICA本部社会基盤・平和構築部ジェンダー平等・貧困削減推進室にも表敬訪問され、CM4TIPの活動を含むタイとJICAの協働を引き続き精力的に進めていく意向を示されました。



TICA コネクト のパネルディスカッション に松野チーフがパネリストとして参加

9月15日にタイの援助機関であるTICA、タイ外務省とJICAの協賛TICA Connectのイベントが行われました。今年、日本とタイの国交130周年という事もあり、在タイ日本国大使佐渡島大使が挨拶を述べ、また、その場でTICAとJICAの正式な「SDG^{*1}達成に向けてのパートナーシップ協定」が締結されました。その中で、タイと日本が

SDG達成に向けてどのように協力していけるか？をテーマにしたパネルディスカッションがあり、CM4TIPの松野チーフアドバイザーがJICAタイ事務所からの発表者として登壇させていただき、CM4TIPの活動及び日-タイの人身取引分野での協力についてお話しさせていただきました。

詳しくは <https://www.facebook.com/saranromradio/videos/1625320017489251/>

*1: SDG: Sustainable Development Goal (持続可能な開発目標)

明治学院大学の訪問

8月10日 明治学院大学国際学部の皆さんが、海外スタディプログラムの一環としてCM4TIPプロジェクトを訪問してくださいました。引率の齋藤百合子先生は、長年人身取引問題を研究していらっしゃる、本プロジェクトにも短期専門家としてご参加いただいています。学生さんたちは、グループワークを通じて、人身取引が起きる原因やその対策について熱心に議論を交わしていました。



関西大学の訪問

8月23日 関西大学・西澤ゼミの皆さんが、海外スタディプログラムの一環としてCM4TIPプロジェクトを訪問してくださいました。引率の西澤希久男先生は、タイの法律がご専門で、タイの人身取引被害の裁判にも興味を持っておられます。以前、ゼミで紹介された本プロジェクトのことを、今回は現場でプロジェクトに従事する専門家より、直接紹介させていただきました。

